

事業報告書様式

- 1 様式1
(施設概要、指定管理者概要)
- 2 様式2
(管理運営体制(事業計画書様式2)の報告、利用促進・市民協働等(事業計画書様式3)の報告、維持管理(事業計画書様式4)の報告)
- 3 様式3
(有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)・利用料金収入実績、令和7年度公園利用状況)
- 4 様式4
(令和7年度修繕実績)
- 5 様式5
(令和7年度増減備品一覧)
- 6 様式6
(苦情要望対応報告、事件・事故・災害対応報告)
- 7 様式7
(利用者アンケート結果)
- 8 様式8
(研修実施報告)
- 9 様式9
(無料事業実施報告一覧(自主事業含む)、有料事業実施報告一覧(自主事業含む))
- 10 様式10
(業務の第三者委託実績)
- 11 様式11
(収支報告書(指定管理事業のみ))
- 12 様式12
(運営目標・実績報告)

1 施設概要

公園名	大榎杉の森ふれあい公園
所在地	神奈川県横浜市都筑区大榎町472番1
公園面積、公園種別	9,812㎡（街区公園）
主な施設	分区園(10㎡×23区画、15㎡×13区画、40㎡×2区画)、協働農園、広場、樹林地、倉庫(トイレ併設)、照明、駐輪場、脚洗場、案内板、水呑場等
特徴	横浜みどりアップ計画の一環として農地の公益的機能の保全と市民の農体験の機会を増やすため整備された農園付公園
公園開園日	平成28年4月1日

公園名	若草台第二公園分区園
所在地	神奈川県横浜市青葉区若草台6-1
公園面積、公園種別	約1,565㎡（街区公園）
主な施設	分区園(30㎡ 32区画)、倉庫(トイレ付)、縁台等
特徴	市内では初期の分区園(パーク菜園)として整備された
公園開園日	昭和61年4月6日

2 指定管理者概要

指定管理者名	株式会社 田澤園
代表者名	代表取締役社長 田澤重幸
所在地	神奈川県横浜市南区六ツ川4丁目1234番地
指定管理期間	令和5年4月1日～令和9年3月31日まで(4年間)
現指定管理者管理運営開始日	大榎杉の森ふれあい公園：平成28年4月1日 若草台第二公園分区園：平成31年4月1日

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制

(1)管理運営体制

横浜市南区にある本社に置かれた管理本部では、利用者からの意見・要望を受ける窓口業務のほか、現場作業の監督指導や、作業実施報告書の受理、予算の執行管理、職員研修の計画実施等を、各種マニュアルを活用した上で実施し、公園管理責任者を支援しました。当団体が指定管理業務を行っている他公園と連携して以下の職員を配置し管理運営を行いました。

(2)勤務体制

現地管理責任者・技術職員によって、定期巡視・清掃を適宜実施し、荒天時や緊急時などには必要に応じて臨時巡視を行いました。また夏季や繁忙時には、配置人数を増員し、状況に応じて柔軟に対応しました。また、当公園に職員は常駐しない為、利用者や市、関係機関との連絡体制を明確に構築し対応しました。

年末年始の緊急時対応としては、24 時間体制で連絡がとれるよう外部の警備会社に委託し、指定管理者への連絡体制を整え、公園利用者が安全・安心して過ごせる環境を整えました。

2 利用促進・市民協働等の報告

(1) 利用促進

当団体は公平・公正に利用者の声を把握して管理運営に反映し、誰もが安心して安全・快適に利用できる環境プログラムを提供しました。

① 利用者ニーズの把握

利用者や周辺住民の方へ積極的にコミュニケーションを取り、「クズなどツタ類の繁茂を防いでほしい」との要望に応えました。また、戸建住宅沿いのU字溝の落葉溜りも巡視点検の際に除去していたため、水が溢れることもなく、両方とも近隣住民から感謝の言葉をいただきました。

利用者と顔を合わせることで「顔の見える管理」を行い、信頼関係を築くことができました。

② 利用者の安全及び利用者指導

熱中症の予防として、注意喚起ポスターの掲示や利用者への声掛けを積極的に行いました。

熱中症対策としては、利用者倉庫に温湿度計の設置や管理ヤードには経口補水液等を常備しました。

現在、職員4名が上級救命講習を受講済みで、救急箱・AED・消火器を設置し、緊急時の対応に備えました。

年末年始は警備会社に委託して24時間対応の連絡体制を整えました。

個人情報保護研修・情報セキュリティ研修を実施、個人情報保護法入門研修(LEC東京リーガルマインドeラーニングコース)を受講し、個人情報の取扱いについて学びました。

③ 利用者の利便性の向上に寄与する取組

両公園では、共有農具の配備、各区画に土壌改良材としてはまっ子ユーキ(有料)の配布、利用者の年齢層に応じた広報手段として、SNS・掲示板の活用を行いました。

大槲では、自動販売機(災害救援対応)の設置、若草台では、区画内通路に防草シート敷設と区画内の雨水排水誘導のために通路下に直径10cmの塩ビ管を布設して水溜りの防止を図りました。また、若草台の倉庫改修工事に伴う利用者の道具の仮置き場について、工事着工前から市・請負業者と調整を行いました。その結果、工事中も耕作を続けられるよう指定管理者が仮倉庫を設置し、分区園利用者の利便性向上に貢献しました。

(2) 市民協働

当団体は地域に根差した企業として「良き企業市民として、より良い社会を実現するため、社会貢献活動を積極的に推進します。」というCSR方針を掲げています。地域住民と連携し地域の賑わいや交流の場として公園が活用されるよう、市民参加・市民協働に寄与する取組を行い、以下のような様々なイベントを積極的に実施し、農体験を通じた地域住民の交流を図りました。

【若草台第二公園分区園】

七タイイベント、ゴーヤの無料配布、朝どれ野菜の無料配布、愛護会と空きスペースにおいて球根ばらまき花壇の実施・花植え支援、お正月用フラワーアレンジメント教室

【大槲杉の森ふれあい公園】

タケノコ掘り、七タイイベント、花壇の花植え、ジャガイモ・サトイモ・ショウガ・ダイコン・ブロッコリー・スティックセニョールの収穫体験、お正月用フラワーアレンジメント教室、ナツミカン・ウメの実収穫体験、ウメの整枝剪定講習会、自然観察会・環境教室・バードコールづくり、クリ・カキ・カリンの配布、分区園利用者と連携した樹名板づくり

3 公園の維持管理の報告

週2回行う巡視点検により、修繕箇所を早期発見・予防する予防保全型の維持管理を行いました。要望があった際は、悪天候時にも早急に実施するフットワークの良い対応を行いました。

【若草台第二公園分区園】

各所に施設の老朽化がみられるため、巡視点検、定期点検・詳細点検時には必ず老朽化を確認する点検を行いました。分区園内通路に防草シートを敷き、高齢者でも歩きやすくしました。増設してある水道施設のホースで漏水が発生。原因はホースの部分的な劣化で小さな切れ目からの漏水であったため、劣化部分を切り取って補修しました。

公園愛護会と連携しながら花植え等を行い、公園の魅力向上やPR等、質の高い管理運営を行いました。

【大榎杉の森ふれあい公園】

昨年、市に依頼していたスギの危険木については、横浜市が伐採を完了し、第三者被害の未然防止が実施できました。

近隣住民から要望のあった道路沿いの中低木の刈込は昨年同様、対向車の視距を確保できる高さまで低くして安全を図りました。「耕作物の盗難防止にも役立つ」と利用者からの声をいただきました。

重点的に取り組んでいる希少植物の保全については、令和7年2～3月に実生の常緑樹の伐採と下草刈り、落葉かきを実施した結果、令和6年度35株程度だったキンランが令和7年度には141株に増やすことができました。きめ細かな里山管理の手入れが生んだ画期的な成果と自負します。

また、市と協議して西側法面エリアの芝生広場にはアイストップとなる場所にサトザクラ(カンザン)を新植し、景観向上を図りました。

さらに、分区園通路の通行に支障となる低木は定期的に剪定を行い、分区園利用者の利便性向上に配慮しました。

(事業報告書様式3)

1 有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)

■若草台第二公園分区園 有料施設利用回数・稼働率

名称	全区画数	利用区画数	利用率
個人用区画 (30 m ²)	32	27	84%

■大榎杉の森ふれあい公園 有料施設利用回数・稼働率

名称	全区画数	利用区画数	利用率
個人用区画 (10 m ²)	23	23	100%
個人用区画 (15 m ²)	13	13	100%
団体用区画 (40 m ²)	2	2	100%
合 計	38	38	100%

2 利用料金収入実績

■若草台第二公園分区園 有料施設利用料金収入

名称	単価(円)/年	全区画数	利用区画数	合計(円)
個人用区画 (30 m ²)	19,500	32	27	526,500
合 計		32	27	526,500

■大榎杉の森ふれあい公園 有料施設利用料金収入

名称	単価(円)/年	全区画数	利用区画数	合計(円)
個人用区画 (10 m ²)	10,000	23	23	230,000
個人用区画 (15 m ²)	15,000	13	13	195,000
団体用区画 (40 m ²)	36,000	2	2	72,000
合 計		38	38	497,000

3 令和7年度 公園利用状況

月別	公園の利用人数	備考
非常駐公園のため未計測		

(事業報告書様式4)

令和7年度 修繕実績

修繕月日	修繕箇所	金額(単位:円)	委託業者名または直営かの記載
■若草台第二公園分区園			
R7.5.16	ホース修繕	0	直営
R7.7.8	ホースの修繕とノズルの交換	0	直営
■大棚杉の森ふれあい公園			
	修繕なし	0	直営
合計		0円	

(事業報告書様式5)

令和7年度 増減備品一覧

品名	形状・ その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	
増減なし							

(事業報告書様式6)

苦情・要望対応報告

■若草台第二公園分区園			
	年月日	内容	対応結果
1	R7.4.27	夕方、利用者から「ロッカーの鍵が開かなくなってしまったので、明日の朝来てほしい」と連絡を受けた。	4月28日の朝分区園へ行き、スペアキーを使ってロッカーの鍵を開けることができた。利用者の鍵が欠けていたため、開かなくなっていたようだ。その利用者には、後日ロッカーの鍵を複製しお渡しした。
2	R7.4.28	近隣住民から、分区園周辺の駐車について苦情の連絡を受けた。「区画16の人がいつも車を止めているので注意してほしい」	区画16の利用者へ連絡すると、「前にも注意されたので、徒歩か自転車で行っている」と言われた。もし、車で行く場合はコインパーキングを利用するよう利用者に再度伝えた。その後、区画16の家族の方が車で行っていたことがわかったため、厳重注意を行った。他の利用者に対しても、交流ボードで迷惑駐車に関する注意喚起を行った。
3	R7.5.4	19時頃、利用者より「倉庫の扉が開かなくなって困ってしまった(4.5人居た)。蹴とばしたら何とか開いた。木くずが詰まっていたよう	翌日の朝、倉庫扉周囲のウッドチップを除去し、扉に油(CRE556)を差したら、扉の開閉はスムーズになった。

若草台第二公園分区園・大柵杉の森ふれあい公園 令和7年度 事業報告書

		だ。明日の朝来て何とかしてほしい」と要望あり。	
4	R7. 5. 16	利用者から、水栓につないであるホースに穴が開いていて、水が吹き出してしまうと連絡あり。	直ぐに向かってホースの修繕を行い、水漏れは解消した。
5	R7. 7. 8	巡回時に利用者から「ホースのあたりから水漏れしている」との情報をいただいた。同時に別の利用者からも同じ内容の情報を電話にいただいた。	巡回日で現場に担当がいたので直ちにホースを調べた。ジョイント部の漏水の他に、散水ノズルの手元ホース部に5mmの割れとノズルの漏水を確認。ホースの劣化部分を切り取り繋ぎ直し、ノズルは新しい物に交換して漏水修繕を迅速に完了させた。
6	R7. 8. 29	利用者から野菜の盗難にあった人がいるので、何か対策してほしいと要望あり。	9月2日、分区園利用者以外の人が入らないように、分区園入口6か所に注意看板を設置した。
7	R7. 10. 27	利用者から倉庫扉の鍵が閉まらなくなったと連絡あり。	すぐに職員が向かい、扉に油(CRE556)を差すと、扉はスムーズに開閉できるようになった。(倉庫の改良工事により解消できる見込み)
8	R8. 2. 10	利用者から、個別ロッカーに置く柄の長い農具を倒れないようにしたいと要望あり	個別ロッカーにゴムのフックを取り付けて倒れないようにした。

■大柵杉の森ふれあい公園			
	年月日	内容	対応結果
1	R7. 6. 13	利用者からの要望 「去年はトウモロコシが13本なくなっていた。3年前はトマトの盗難にあい、犯人を捕まえた。ネットを張り鍵を付けたが、利用者以外が入らないように何か対策してほしい。」	関係者以外が入らないように、分区園入口2か所に設置してある注意看板付きカラーコーンに目立つ色のバーを取り付けた。(取り外し可能のバーなので、分区園利用者は手で外して入ることができる。) 分区園利用者から「知らない人が入りづらくなったのでよかった。」との感想をいただいた。
2	R7. 7. 10	隣接住民から草刈要望のメールあり 「大柵杉の森ふれあい公園内の雑草とりを、依頼いたします。涼しい日か、秋でも、かまいません。よろしくお願いします。」	7月10日、翌日草刈予定であることをメールでお知らせし、7月11日草刈を行った。
3	R7. 8. 1	利用者から、共有のジョウロが水漏れしてしまうので新しくしてほしいと要望あり。	8月5日、新しいジョウロを2つ購入し、共有農具置場に設置した。
4	R7. 8. 1	利用者から、蚊が増えてきて困っているので何か対策してほしいと要望あり。	8月5日、ヤブ蚊の退治スプレーを購入し、利用者倉庫内に設置した。
5	R7. 10. 31	ご意見箱に「トイレは設置しないんですか？」とご意見あり。	常時設置してある案内図にトイレの位置は記されているが、トイレの場所の案内図を作成し、掲示した。
6	R7. 12. 15	北部公園緑地事務所に元地権者から敷地内の落葉清掃の要望連絡が入った。	12月16日に落葉清掃したが、尾根のクヌギに葉がまだ付いていたため、年末の26日にも落葉清掃を実施した。

(事業報告書様式6)

事件・事故・災害対応報告

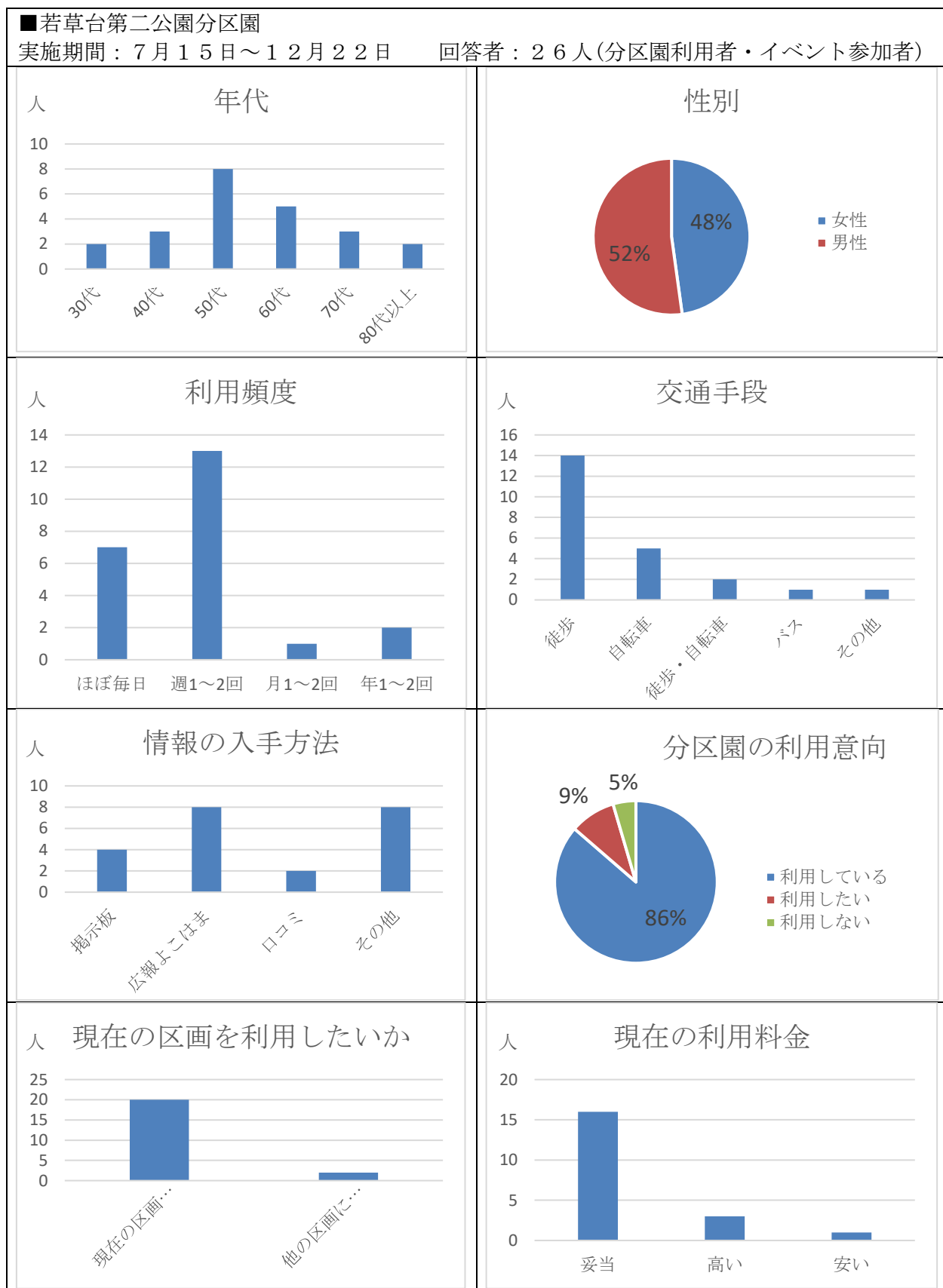
■大柵杉の森ふれあい公園 今年度の報告はありません。

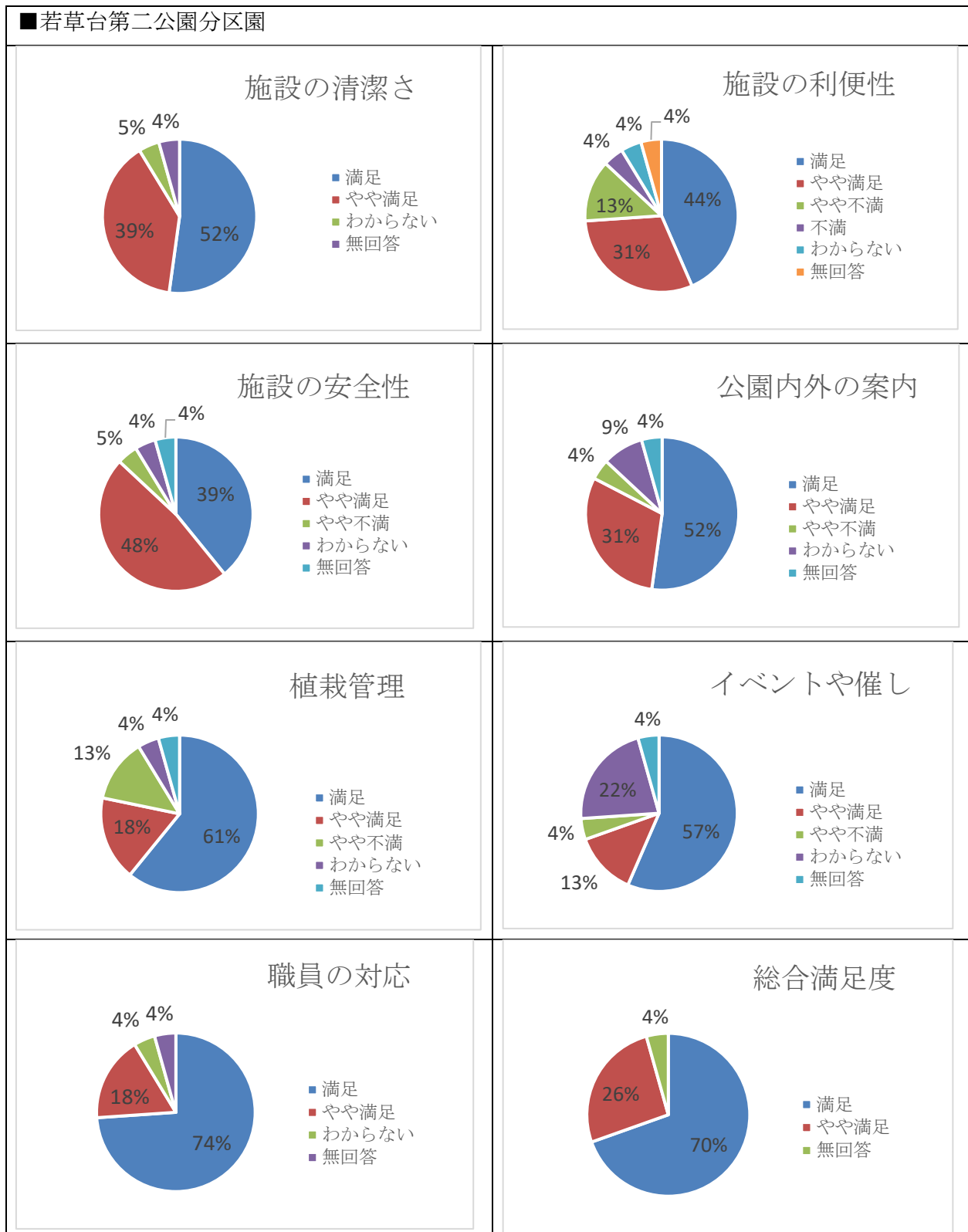
■若草台第二公園分区園 今年度の報告はありません。

(事業報告書様式7)

アンケート結果

分区園利用者・イベント参加者にアンケート調査を実施し、要望等を把握した。





■若草台第二公園分区園

【分区園を利用したい・しない理由】

- ・管理が行き届いている。
- ・自宅から近いから。
- ・自宅から近くないため。

【現在の区画を利用したい理由】

- ・水道に近い。
- ・土作りをしてきたから。
- ・2年間利用しているので、状況が分かっている為。
- ・移動が面倒なので。移動が大変だから。
- ・土作りをして現区画に愛着がある為。
- ・きれいにしているから。
- ・使い慣れているため。

【他の区画に移動したい理由】

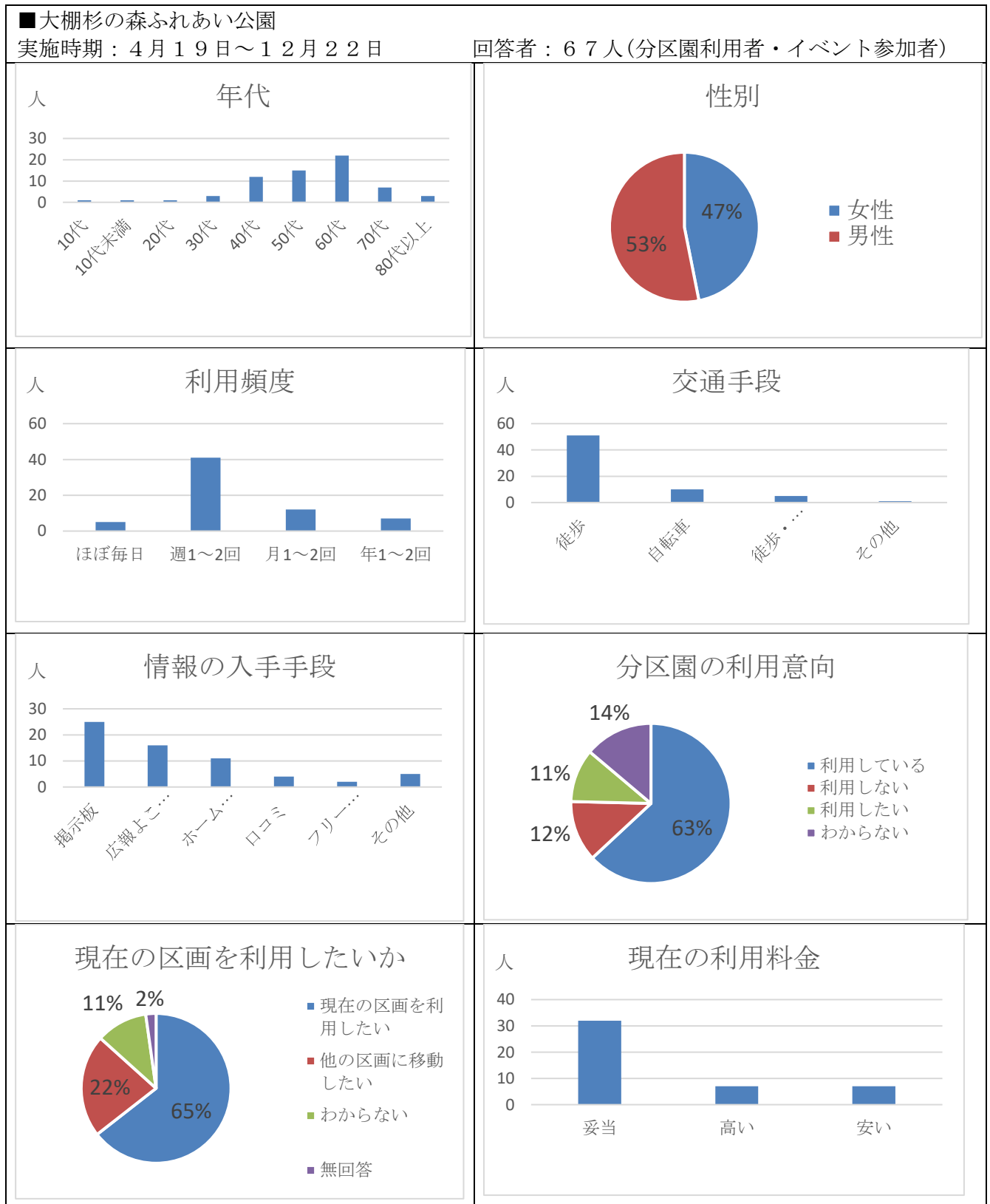
- ・土がかたい。
- ・土の状態がだいぶ違うように見える。
- ・自宅に近い。

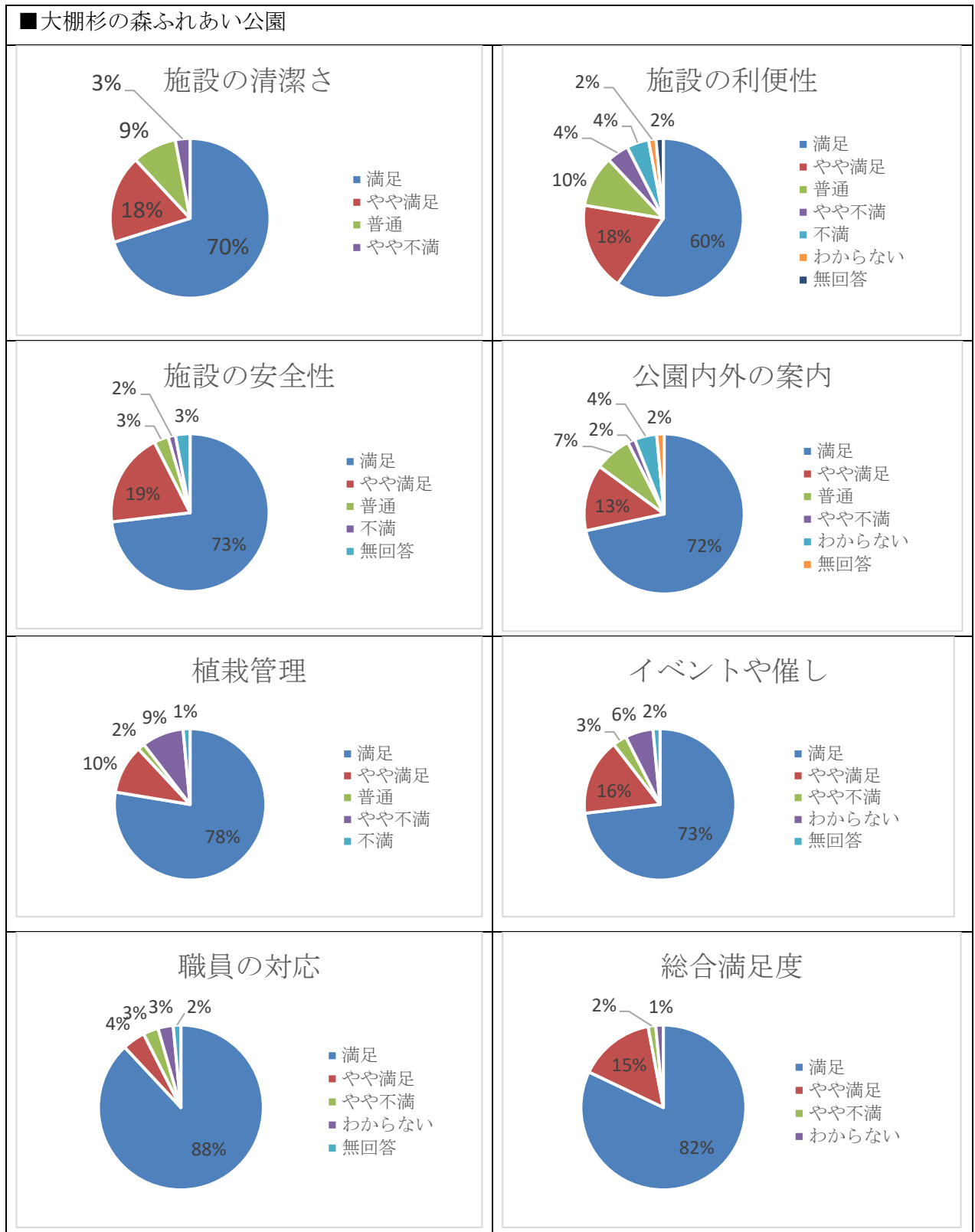
【利用料金】

- ・以前に比べ倍近い。月額1,000円位に希望します。
- ・これ以上高くなると正直苦しいです。
- ・年々上がる理由が解らない。
- ・安いにこしたことはないが。

【自由意見】

- ・機具も使わせていただいています。いつも管理業務ありがとうございます。
- ・使われていない区画には防草シートが張られているが、境界線には雑草が伸びている。全面に張った方が管理が楽だと思います。
- ・不使用の区画が多く、そこから雑草等が移っている様に思えるので、もう少し頻繁に雑草抜き等の作業をやってもらいたい。
- ・きゅうりの盗難にあったと思います。確定ではありませんが、明らかに刃物で切られていました。カラスとは異なります。
- ・田澤園の方は良く来て、きちんと管理してもらいありがとうございます。ロッカー建物のドアが閉まりにくい時があります。
- ・水もれするジョウロを変えてほしい。
- ・ホースを長くしてほしい。
- ・カラス対策をしてほしい。
- ・物置脇の水道下土砂掘りたのみです。
- ・イベントに来年も参加したいです。





■大槲杉の森ふれあい公園

【分区分園を利用したい・しない理由】

- ・自分達で育てた野菜を食べると美味しいので。
- ・野菜作りが好きだから。楽しいから。農作業が楽しいから。
- ・今は忙しいけど将来的に試してみたい。
- ・近所だから。
- ・体力的に無理なので。
- ・日々の手入れができないと思います。やってみたいのですが…。
- ・家に畑があるから。

【現在の区画を利用したい・他の区画に移動したい理由】

- ・土作りを工夫しているあら愛着がある。土壌改良をしているから。使いなれているから。
- ・入口から近く便利。日当たりが良く、水やりが楽な為。荷物の移動が楽。
- ・畑をBESTな状態にしているので。地味がよく、作物の出来が良い気がします。
- ・広さ、場所等満足しているため。大きさもちょうど良いし、土作りも自分たちなりにがんばっているつもりなので、そのまま使わせて頂きたいです。
- ・自分の肥料でどのように育つか見たい。

【利用料金】

- ・利用者の自由度と施設の充実度から妥当と思う。
- ・値上げがエグイ。金額が開園時の倍。値上げの頻度が高い。

【他の区画へ移動したい理由】

- ・ネキリムシが多く、対処に困っているため。冬場の日当たりが悪い。

【自由意見】

- ・畑の周囲に群生しているドクダミの除草を定期的にお願ひしたいです。
- ・周辺の整備いつもありがとうございます。利用者との交流機会、収穫祭、話し合うチャンス。
- ・まわりの植栽の剪定をきちんとやってほしい。通路におおいかぶさってくる。虫が増えたり、根が畑まで押し寄せてきます。
- ・道に出る所の上り側のツツジは低くしないと子供が下りてくる車が見えず危険！
- ・水栓を立水栓にしてほしい。腰痛でつらいです。畑の水まき用散水栓が使いにくい。出来れば蛇口にしてほしい。せめてホースを蛇腹に替えてほしい。
- ・雑草が生えたままのため刈取りして頂きたい。畑西側の竹をもう少し切ってほしい。
- ・施設のドアを開ける時、ドアと柱のぶつかる音と開けづらい。ドアのカギが固い。時々油をさして。
- ・畑の上側（北側）からの入口を作ってほしい。利用した道具を洗ってほしい。
- ・先日、通路上に蛇のつがいがいるのを見かけました。子どもあそび（すなばみたいなとこ）。
- ・安全性の確保ならびに作物の盗難防止のため、防犯カメラを設置してほしい。
- ・現在、バケツで水を運んで畑に撒いています。真夏の暑い時期だけでも他に畑で活動している人がいないときだけで良いので、ホースを使って散水をさせていただけないでしょうか？
- ・タケノコ掘りなど毎年楽しみに参加させて頂いております。自宅横の水路はおち葉がたまりやすいのですが、定期的に掃除してくださるので、台風や大雨のときなど以前は自宅に水が溢れてくることもありましたが、今はありません。これからもどうぞよろしくお願い致します。
- ・くずの葉や茎が敷地内にはびこんでくるのでできれば根絶してほしい。
- ・グラウンドでランニング、ベンチで友達と談笑、ゲームをしたり、よく利用させていただいております。畑の手入れ具合やトイレの清潔さなどを見ていると、管理者各位の業務の丁寧さを感じる事ができ、心より感謝申し上げます。大変だとは思いますが、手入れ・管理の程よろしくお願ひ致します。
- ・すばらしく手入れの届いた農園でのどかな春（夏）の日を過ごせました。
- ・畑をたがやすイベント（畑づくり）とかあるとおもしろいかと思ひます。
- ・イベント情報をうっかり見過ごしてしまうことがあった。もう少し気をつけて見るようにします。
- ・畑のルールを決めて契約時にしてほしい。放置区画防止のため。
- ・体験イベントをたくさんできたら良いです。お正月飾り、リースやスワッグ。

(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	研修名	参加人数	内容及び効果
1	R7. 6. 6	安全推進大会	4	安全に作業を行う為の研修
2	R7. 9. 9	花卉園芸研修会	2	花卉園芸についての知識・技術等の研修
3	R7. 9. 29	AED講習会	3	AED使用方法の講習会
4	R7. 9. 29	情報セキュリティ研修	4	PC操作時のセキュリティ研修
5	R7. 10. 17	社内防災訓練	4	災害時の安否確認等の訓練
6	R8. 3. 30	個人情報保護法入門研修 (LEC東京リーガルマインド)	1	個人情報の取扱についての研修
7	R8. 3. 31	社内個人情報保護研修	4	個人情報の取扱についての研修

(事業報告書様式9)

無料事業実施報告一覧 (自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
■ 2 公園共通			
土づくり講習会	講師による土づくりの講習会を開催	10名	4・9月
栽培講習会	講師による野菜の栽培講習会を開催	10名	4・9月
農薬の取扱い講習会	代用品での栽培アドバイスを実施	10名	4・9月
現地でのお悩み相談会	栽培している野菜のお悩み相談会を開催	10名	4・9月
道具の貸し出し	持ち運び困難な道具の貸し出しサービスを実施	—	随時
利用者用手引きの配布	利用規定や緊急連絡先を記載した手引きを配布	全区画	4月
連作障害防止	連作障害防止の観点から利用者に栽培情報の提供を実施	全区画	4月
図書サービス	利用者用倉庫内に野菜作りの書籍を常備	—	随時
土壌調査	希望者に向けて土壌の酸度測定を実施	10区画	4月
園芸資材の譲渡会	不要となった園芸資材の譲渡を実施	2名	2月～
畑づくりのコツ	畑作業で発見したコツの募集	—	随時
お野菜レシピ	分区園で収穫した野菜レシピの募集	—	随時
収穫体験・タケノコ掘り	竹林管理の一環として行う大槲のタケノコ掘りは、若草台の利用者にもPRを実施	45名	4. 19
落ち葉のリサイクル	果樹園で園内で作った堆肥を寒肥と一緒に混合して活用	—	12月

若草台第二公園分区園・大槲杉の森ふれあい公園 令和7年度 事業報告書

季節の種の無料配布	ダイコンの種の無料配布を実施	全区画	7. 25
区画番号の作成	新しい区画番号札を設置	全区画	3月
土づくりコンテスト	土づくり自慢を募集	—	随時
こども食堂への提供	協働農園で育てたジャガイモを地元のこども食堂へ提供	—	6. 18
	協働農園で育てたサトイモを地元のこども食堂へ提供		11. 5
協働農園 グリーンカーテンの活用	来園者の熱中症対策と植物の生育観察・収穫体験のコーナーとしてゴーヤのグリーンカーテンを設置	—	6. 24
	ゴーヤが豊作だったため来園者に配布	5名	8/8. 12
	ショウガが豊作だったため分区園利用者へ配布	—	11. 18
	ダイコンが豊作だったため分区園利用者へ配布	—	12. 16
野菜作り日記	SNSや交流ボードを活用し、野菜の生育状況等を紹介	—	随時
交流ボード	利用者同士の交流と情報交換の場の提供を実施	—	随時
ホームページ・Xの活用	公園のHP・Xを活用し、イベントや見ごろの花等の情報をタイムリーに発信し、利用促進に繋げた。	—	随時
AED・消火器の設置	緊急時に備え利用者倉庫に常備	—	随時
花植えによる景観向上	景観向上の為、花植え作業を年2回実施（若草台）	—	4・11月
	景観向上の為、花植え作業を年6回実施（大槲）	—	4～11月
七夕イベント	大槲の竹を利用して七夕飾りを設置	45名	6. 7月
公園パンフレットの配布	公園パンフレットを配布し、利便性向上とPRを実施	—	随時
竹のお正月工作	大槲の竹を利用してお正月用アレンジメント教室を開催	7名	12. 22
お正月飾り	利用者倉庫入口にお正月飾りを設置	—	12. 28

■若草台第二公園分区園

堆肥の提供	大槲の公園で作った堆肥を花壇で活用	—	12. 2
青葉地産地消レシピブックの紹介	青葉区が作成している野菜のレシピブックを配布	—	10. 24～
朝どれ野菜の無料配布	収穫したゴーヤの配布を実施	3名	8/8. 12
愛護会等の地域団体との連携	愛護会の方にご協力いただき園内の空きスペースに球根と花植えを実施	—	12. 2

■大槲杉の森ふれあい公園

さとやまづくり	さとやま景観の保全・希少植物の保全を実施	—	随時
花木園を活用した地域交流	ウメの実の収穫体験を実施、来園者にも配布	3名	6. 6
	クリを収穫し、来園者に配布	—	10. 10
	カリンの実を収穫し、来園者に配布	—	12/2. 6. 9
	ナツミカンとハッサクの収穫体験を実施	25名	2. 17
	ウメの整枝剪定講習会を実施	1名	2. 6
竹林を活用した地域交流	近隣住民向けにタケノコ掘り開催	45名	4. 19

若草台第二公園分区分園・大柵杉の森ふれあい公園 令和7年度 事業報告書

巣箱の設置	来園者が野鳥を観察できるように、巣箱を設置	—	12. 26
手書きの樹名板づくり	分区分園利用者と連携した手書きの樹名板を設置	2名	3. 24
自然観察会	里山の自然観察会を実施	9名	12. 6
農業体験	協働農園で育てたジャガイモの収穫体験を実施	16名	6. 14
	協働農園で育てたサトイモとショウガの収穫体験を実施	8名	11. 1
	協働農園で育てたダイコン・ブロッコリー・スティックセニョールの収穫体験を実施	16名	12. 6
ゾウにタケノコプレゼント	竹林管理の一環として伐採したタケノコをズーラシアのゾウの飼育員にお届け	—	4. 21
工作教室	樹木剪定で発生した枝を使いバードコール作りを実施	9名	12. 6
環境教室	堆肥置場の見学を実施	9名	12. 6
自然クイズラリー	園内の植物で自然クイズラリーを行いHPで発信	—	3. 27
花情報	見ごろの花情報を作成し、園内掲示板に掲示	—	5～8月
里山に生育する野草のコメント表示	花の咲く野草などのコメント板を現地に設置	—	4. 28 11. 11

有料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費 (円)	自主事業収入 (円)
■ 2 公園共通					
園芸資材の 現地販売	土壌改良剤であるはまっ子ユーキの現地販売を実施	—	4・8 月	58,500	78,000
竹のお正月工 作	大柵杉の森ふれあい公園で伐採した竹を使って、お正月用のフラワーアレンジメント教室を実施	7名	12. 23	8,425	7,000
合計				66,925 円	85,000円

（事業報告書様式10）

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額(円)	年回数	実施月
公園灯設備点検	公園灯設備の点検	光洋電設(株)	26, 500	1	11月
巡回警備	年末年始緊急時の巡回警備	京浜警備(株)	14, 000	1	12・1月

(事業報告書様式11)

収支報告書(指定管理事業のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	8,661,600	0	8,661,600	8,661,600	0	
利用料金収入	1,121,000	0	1,121,000	1,023,500	97,500	
自主事業収入	125,000	0	125,000	85,000	40,000	
横浜市による運営支援	0	323,000	323,000	323,000	0	横浜市による物 価高騰に伴う指 定管理施設運営 支援(71,000円) 賃金水準変動対 応に伴う指定管 理施設運営支 (252,000円)
雑入	0	0	0	1,000	▲1,000	
その他雑入	0	0	0	0	0	
収入合計(a)	9,907,600	323,000	10,230,600	10,094,100	136,500	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	7,286,000	252,000	7,538,000	7,474,428	63,572	
給与・賃金	6,057,000	252,000	6,309,000	6,372,398	▲63,398	
社会保険料	797,000	0	797,000	818,501	▲21,501	
通勤手当	150,000	0	150,000	179,017	▲29,017	
福利厚生費	100,000	0	100,000	14,512	85,488	
勤労者福祉共済掛金	12,000	0	12,000	6,000	6,000	
退職給付引当金繰入額	170,000	0	170,000	84,000	86,000	
事務費	800,600	71,000	871,600	536,874	334,726	
旅費	100,000	0	100,000	37,006	62,994	
消耗品費	250,000	71,000	321,000	240,026	80,974	
会議賄い費	10,000	0	10,000	8,471	1,529	
印刷製本費	20,000	0	20,000	0	20,000	
通信運搬費	170,000	0	170,000	127,911	42,089	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	0	0	0	0	0	
備品購入費	100,000	0	100,000	0	100,000	
保険料	70,000	0	70,000	63,460	6,540	
振込手数料	10,000	0	10,000	0	10,000	
リース料	60,000	0	60,000	60,000	0	
手数料	0	0	0	0	0	
その他事務費	10,000	0	10,000	0	10,000	
自主事業費	230,000	0	230,000	200,655	29,345	
管理費	1,180,000	0	1,180,000	822,137	357,863	
光熱水費合計	450,000	0	450,000	238,872	211,128	
光熱水費(電気)	200,000	0	200,000	104,850	95,150	
光熱水費(ガス)	0	0	0	0	0	
光熱水費(水道)	250,000	0	250,000	134,022	115,978	
光熱水費(下水道)	0	0	0	0	0	
清掃費	0	0	0	0	0	
修繕費	100,000	0	100,000	0	100,000	
機械警備費	0	0	0	0	0	
公園及び公園施設設備保全費	630,000	0	630,000	583,265	46,735	
施設(建物)・設備保守	100,000	0	100,000	26,500	73,500	
園地管理費	430,000	0	430,000	542,765	▲112,765	
その他保全費	100,000	0	100,000	14,000	86,000	
公租公課	11,000	0	11,000	0	11,000	
公租公課(事業所税)	5,000	0	5,000	0	5,000	
公租公課(消費税)	3,000	0	3,000	0	3,000	
その他公租公課	2,000	0	2,000	0	2,000	
事務経費(本部分)	400,000	0	400,000	556,000	▲156,000	

若草台第二公園分区園・大榎杉の森ふれあい公園 令和7年度 事業報告書

雑費	0	0	0	0	0	
支出合計 (b)	9,907,600	323,000	10,230,600	9,590,094	640,506	
差引 (a－b)	0	0	0	504,006		
(参考) 指定管理事業外の収支						
設置管理許可収入合計 (c)	40,000	0	40,000	45,070	▲5,070	自販機一台
設置管理許可支出合計 (d)	1,309	0	1,309	22,104	▲20795	
差引 (c－d)	38,691	0	38,691	22,966	15,725	

今年度の収支報告

定期巡視でこまめな点検を実施し、不具合の早期発見・予防を図ったことで大規模修繕に至らなかったため、修繕費の削減ができた。コスト意識を持ち、経費削減に努めた。

(事業報告書様式12)

運営目標・実績報告【自己評価 ◎:特筆すべき取組がある ○:達成している △:改善を要する】

項 目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価	改善点等今後の取組
業務運営 1 (事業計画書様式2:運営業務の実施計画・取組)	①農業を通してふれあえる公園づくり ②利用者ニーズを踏まえたサービスの提供 アンケートや巡視時の聞き取り調査を通じて反映(年2回程度) ③地域連携とコミュニティー形成を促進 協働農園や果樹園を活用した自主事業の実施 ④安全・安心で快適に利用できる環境づくり ⑤市民への還元と社会的な責任を果たす ⑥谷戸景観・里山景観・緑の保全 竹林やキンラン・エビネランの自生エリアの保全 ＜今後の取組・目標＞ 野菜作りのできる公園・まちの人・里山環境の保全のつながりを目指した公園管理に取りくむ	・公園利用者への声掛けや掲示板の活用により、大槲の分区園利用率は100%に繋げることができた。若草台は84%であった。 ・またイベントへの声掛けなども積極的に行い、栽培作物を増やした結果、令和7年度のイベント参加人数は大槲126名、若草台33名、近隣住民や分区園利用者に大変喜ばれた。 ・若草台の未利用区画(5区画)は粘性土質で塊ができるため、4月の切り替え前に大幅な土壌改良を実施した。はまっ子ユーキ2t車2台分1,530kg(1区画当たり300kg袋詰め30袋相当)を混合し耕耘した。 ・大槲の自販機の売上で野菜苗や花苗等を購入することができた。 ・竹林や自生する希少植物(キンラン・ギンラン・エビネ・ヤマユリ)の保全のために笹刈や落葉かきなどを適切に行った。令和6年度に35株だったキンランが令和7年度には141株に増えるなど、画期的な成果が上がった。 ・毎月の野草モニタリングを続けた結果、年間の野草の花暦を完成することができ、バードコールづくりイベント時の自然観察会で資料配布し、説明も行った。	◎	令和8年度も協働農園・果樹園栽培管理を適切に行い、収穫体験等、地域の皆様に喜ばれるイベントを実施します。里山景観や竹林管理、希少植物の保全も適正に行います。

業務運営 2 (事業計画書様式 2 : 管理運営体制、人員の配置と研修計画)	【管理運営体制】 ①現地管理責任者・技術職員による 定期巡視・清掃 (週 2 回) ②荒天時や緊急時など必要に応じて臨時巡視 ③夏季や繁忙時の増員 (2 人程度) 【研修】 ①安全管理、接遇など様々な業務を遂行できるよう定期的研修 (年 3 回程度) ②マルチスタッフ化を図る スタッフ連携や情報共有、研修等を通じてマルチスタッフ化を目指します ③職員の技術・技能の向上 日常の管理業務や作業を通じて技術の伝承を目指します	・公園利用者が安全、安心に利用できるよう、週 2 回の定期巡視を行った。 ・必要に応じて臨時巡視や繁忙時の増員を実施した。 ・安全推進大会、社内防災訓練、AED 講習会、花卉園芸研修、情報セキュリティ研修、個人情報保護研修に参加・実施した。	◎ 引き続き適正な人員配置を行い、定期的な研修を行いながら、安全な管理を行います。
業務運営 3 (事業計画書様式 3 : 利用者サービスの向上・利用促進策)	利用者の声を把握し公平・公正に管理運営に反映し、誰もが安心して安全・快適に利用できる環境とプログラムを提供します。また、公園の魅力向上と利用者サービスの向上を図ります。 ①アンケートによる満足度 90%以上を 目指す。 ②利用者からの要望の実施 ③利用者募集 PR を SNS や掲示板・広報誌等を活用しておこないます 屋外での作業も安全に安心して実施できるよう、熱中症対策やアルコール消毒を行う。	・利用者アンケートでは、大槲の総合満足度 97%(満足 82%、やや満足 15%)、若草台の総合満足度 96%(満足 70%、やや満足 26%)の回答が得られ、満足度の向上が図られた。 ・利用者から要望のあったハクビシン被害について、倉庫内の交流ボードで対策の周知を行った。また、野菜の盗難防止対策として、分区分園入口に注意喚起看板、カラーコーンに目立つ色の進入防止バーを設置した。利用者からホースに穴が開いていると連絡を受けた際は、すぐに現地へ向かいホースの補修を実施するなど、迅速に対応した。 ・利用者募集の PR として X、HP、掲示板での情報発信に加え、自治会と連携して、自治会館にチラシを置かせていただいたことで利用者確保に繋がった。 ・熱中症注意喚起ポスター掲示や、経口補水液等の常備、アルコール消毒・ハンドソープの設置など、衛生環境を整えた。 ・若草台の倉庫改修工事に伴う利用者の道具の仮置き場につ	◎ 引き続きアンケート調査の実施を行い、利用者アンケートの満足度アップに繋がるよう、利用者とのコミュニケーションを大切にし、スタッフ間での情報共有をしていきます。また、熱中症対策など季節の変化に応じた利用者サービスの向上に取り組めます。

		いて、工事着工前から市・請負業者と調整を行った。その結果、工事中も耕作を続けられるよう指定管理者が仮倉庫を設置し、分区園利用者の利便性向上に貢献した。		
業務運営 4	(事業計画書様式 3 : 広報・プロモーションの取組) ①広く一般に向けた施設専用のホームページの運用 ②高齢者や近隣利用者に向けた直接的な訴求効果が図れる情報媒体(広報誌など)を活用 ③若年者へ向けた、SNS(HP や X)の活用 (X 月 2 回程度) 具体的な管理状況やイベント等の情報を発信し、多くの方に公園を知っていただけるよう取り組む	・掲示板や施設専用のホームページに加え、X も活用して公園の情報発信を行った。 ・公園パンフレットを掲示板の横に設置し、公園の PR に努めた。 ・イベント時は公園や分区園の説明等も行い、多くの参加者に PR した。 ・SNS(HP・X)を利用し、季節毎の変化が感じられる公園の様子やイベントの情報の周知を行った。	◎	引き続き分区園の PR を行い、X や HP での情報発信の回数を増やします。
業務運営 5	(事業計画書様式 3 : 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成) ①地域活動の場の提供、学習の機会(活性化) 協働農園や公園内施設を活用した、農体験の場の提供(・花木園を活用した地域交流 ・竹林を活用した地域交流) ②市民主体の活動の支援 花壇づくり等の企画・サポート ③防災活動の支援 東日本大震災の教訓を啓発し、防災訓練を支援 〈今後の取組・目標〉 本公園は農体験を通じて利用者同士のコミュニケーションが生まれ、作物を育てるだけの場ではな	・竹林管理の一環として行ったタケノコ掘り体験のイベントでは、地域交流の場となった。 ・1m程に伸びすぎてしまったタケノコは、ズーラシアのゾウやオランウータンなどのエサとして活用してもらい、サーキュラーエコミー、循環型社会の実現に繋がった。また、横浜市緑の協会から社会への貢献と循環保全活動の推進をしたとして感謝状をいただいた。 ・協働農園では、ジャガイモ・サトイモ・ショウガ・ダイコン・ブロッコリー・スティックセニョールの収	◎	引き続き近隣住民も参加していただけるイベントを実施し、地域の交流の場となる公園を目指します。

若草台第二公園分区分園・大槲杉の森ふれあい公園	く地域住民にとっての交流の場となる公園を目指します。	令和7年度 事業報告書 穫体験、果樹園では、ウメの収穫体験・整枝剪定講習会・近隣保育園と連携してナツミカンの収穫体験を行い、農体験を通じて参加者同士の栽培体験などの情報交換が行われ、活発なコミュニケーションが図られた。 ・若草台では公園愛護会とチューリップやスイセンの球根をばらまき方式で植え、花壇作りを行った。 ・社内防災訓練を行い、防災備蓄等の確認を行った。さらに、利用者倉庫内に非常用トイレを追加設置した。	
業務運営 6 (事業計画書様式3：地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献)	① 里山風景と自然環境の保全(さとやまづくり) ②地域住民の高齢化対策 ③地域での健康づくり、介護予防、健康寿命の延伸 ④自然体験や伝統文化を学習する機会の提供(巣箱の設置・自然観察会) ⑤SDGsや地球温暖化等の環境学習の場(環境教室・自然クイズラリー) 〈今後の取組・目標〉 公園管理や里山景観の保全を通じて、地域との係わりを大切にし地域課題や活性化につながる機会を提供します。	・竹林や自生する希少植物(キンラン・ギンラン・エビネ・ヤマユリ)の保全のために笹刈や落葉かきなどを適切に行った。令和6年度に35株だったキンランが令和7年度には141株に増えるなど、画期的な成果が上がった。 ・高齢者でも安全に歩けるようにウッドチップを敷き、園路の管理、整備を行った。 ・来園者が身近に野鳥を観察できるように、巣箱を設置し、自然観察会を行った。 ・タケノコ掘り時にタケノコの生え方や里山環境の説明も併せて行った。また、バードコール作りでは、本公園の里山環境の解説を、野草の花暦も使って行い、里山の魅力をアピールした。	引き続き地域の方々と収穫体験が行えるように協働農園の野菜作りの準備を進めていき、身近な自然を楽しめるような公園作りを目指します。 また大槲では希少植物の保全を適切に行います。

業務運営 7 (事業計画書様式 3 : 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮)	【横浜市施策への協力】 ・横浜みどりアップ計画 ・ガーデンシティ横浜の推進 ・国際園芸博覧会の開催に向けて ・横浜市SDGs 認証制度 ・ヨコハマ b プラン ・横浜市水と緑の基本計画 ・横浜市中心企業振興基本条例 ・ヨコハマ 3R 夢プラン ・横浜市地球温暖化対策実行計画 ・横浜市防災計画 当団体は、基本構想を踏まえ公園の設置目的の達成及び横浜市の運営方針や市政の実現に対して積極的に協力・対応し管理を行うとともに、国際園芸博覧会の開催に向けて協力します。	・GREEN×EXPO2027 のポスター掲示や花の植栽管理には力を入れ、みどりアップ計画の推進に努めた。 ・園内で発生した草や落ち葉を利用して堆肥作りをし、ごみの量を抑制することで、環境に配慮した管理運営を行うことができた。	◎	引き続き市の施策実現に向けて積極的に協力し、花と緑あふれる魅力ある公園を目指します。
業務運営 8 (事業計画書様式 4 : 公園の魅力高める施設保全・管理)	公園施設は誰もが安心・安全で快適に利用できるよう、質の高い維持管理と安全確保を最優先し、利用者にとって「きれい使いやすい・魅力ある公園」を目指す ①週 2 回の巡視と定期清掃 ②園内作業や巡視時の利用者への声掛け ③日ごろから近隣住民との顔の見える関係づくり 〈今後の取組・目標〉 公園の魅力高める施設保全や管理を行ってまいります。	・週 2 回の巡視と定期清掃を実施できた。 ・巡視時の利用者への声かけは積極的に実施でき、コミュニケーションを図ることができた。 ・利用者だけではなく近隣住民とも挨拶を交わし、顔の見える関係づくりが実施できた。 ・季節や植物にあった植栽管理の実施、里山ならではの希少植物の保全、ユリやチューリップやスイセンの花等も美しく咲き、来園者から喜ばれた。 ・果樹園では実が多くついた南高梅で初めてウメの収穫体験を実施し、梅干し作りのレシピも配布し、楽しんでもらえた。 ・市と協議して西側法面エリアの芝生広場にはアイストッパとなる場所にサトザクラ(カンザン)を新植し、景観向上を図った。	◎	引き続き適切な施設保全、植栽管理を実施し、魅力ある公園を目指します。

業務運営 9 (事業計画書様式 4 : 施設 (建物等)、設備の維持管理、修繕計画)	①週2回行う巡視点検時の確認 ②修繕箇所を早期発見(週 2 回の巡視) ③予防保全型の維持管理 小さな破損や不具合は適宜補修します 〈今後の取組・目標〉 公園施設は誰もが安全・安心で快適に利用できるよう、質の高い維持管理と安全確保を最優先し、利用者にとって「きれいで使いやすい・魅力ある公園」を目指した管理運営を行う。施設の長寿命化を図るため、定期巡視の際に施設の点検を行い、不具合の早期発見に努める。	・定期巡視の際に施設確認を行い、U 字溝スクリーンの落葉詰まりなど、排水施設には特に気を配り清掃を強化した。定期巡視の際に、竹しがら・野外卓・ベンチの老朽化、枯枝を点検し、施設不具合の早期発見に努めた。 ・きれいで居心地の良い公園と言ってもらえるように、トイレ清掃や園路広場の清掃には力を入れた。トイレはご意見できれいだとの評価をいただいた。	◎	引き続き点検と清掃には気を配り、適切な管理を行います。
業務運営 10 (事業計画書様式 4 : 樹木、植栽等の管理)	〈今後の取組・目標〉 樹木は個体管理を行い、専門職員により適切かつ効率的な育成管理を行う。また、必要に応じて樹木医の診断を実施する。花木の剪定は花や実の時期に留意した剪定を行う。	・中低木、花木類等、適期に剪定・刈込を行い、特に外周道路沿いの低木は、自動車の見通し確保のために高さを抑えた剪定を行った。分区園利用者からは、中がよく見えるので、盗難防止にも役立つとの評価をいただいた。 ・スギの危険木伐採を市に依頼し、実施していただいた。 ・倒木防止・山火事予防の緊急点検で掛かり枝を発見し、すぐに注意喚起看板を設置、翌日、除去作業を実施し速やかな対処を図った。	◎	引き続き植栽等の適切な管理を行い、利用者の事故を未然に防止するよう努めます。

業務運営 11 (事業計画書様式 4 : 巡視・清掃)	①週2回の定期巡視点検 修繕箇所を早期発見・予防する 予防保全型の維持管理 ②日常点検:目視や触診にて、 不具合を軽微なうちに発見し迅速に対応 ③施設点検:年 4 回実施 ④詳細点検:年 1 回実施 ※有資格者による点検を実施 〈今後の取組・目標〉 これまでの経験と技術を活かし利用者が安全で安心して過ごせるような維持管理に努める。	・所定の巡視、点検を計画通り行い、老朽化に伴う修繕が必要な施設については、北部公園緑地事務所と協議できるよう準備を進めた。 ・年末年始の緊急時対応としては、24 時間体制で連絡がとれるよう外部の警備会社に委託し、指定管理者への連絡体制を整え、公園利用者が安全、安心に過ごせる環境を整えた。	◎ 引き続き巡視、点検を計画通りに行い、必要に応じて巡視回数や人員を増やし、利用者が安全、安心に過ごせるような維持管理に努めます。
収支 (事業計画書様式 7 : 収入確保、経費節減策)	分区園利用率 100%を目指し、広報と利用促進に努める 〈今後の取組・目標〉 不具合の早期発見・予防を図る事で大規模修繕に至らないよう努める。コスト意識を持ち経費削減に努める。	・大槲では分区園利用率 100%を達成できた。 ・若草台では分区園利用率 84%だった。 ・令和8年度の分区園利用者確保に向けて、来園者の声掛けに加え、掲示板・HP・広報よこはま 1 月号(都筑区版・青葉区版)を活用し、分区園の PR、募集を行った。 ・定期巡視で不具合の早期発見ができるようこまめな点検を実施した。 若草台では分区園入口から左側の未利用区画の粘性土質土壌の改良を行い、分区園利用切り替え時に他の区画と同じ程度の土質に近づけ、利用者が安心して耕作できるようにしました。	◎ 引き続き分区園利用者の確保には声掛けや掲示板、HP 等を活用した発信を行います。 定期巡視でこまめな点検を行い、不具合の早期発見に努めます。 若草台では、32 区画ある分区園で排水・土壌に一部難のある区画があり、区画の平準化をすすめることが必要と考えています。